

「議案第13号平成31年度千葉市一般会計予算」等の組み替え  
を求める動議について

上記の動議を提出します。

平成31年3月6日提出

提出者	千葉市議会議員	野本	信正
〃	〃	吉田	直義
〃	〃	椛澤	洋平
〃	〃	佐々木	友樹
〃	〃	盛田	眞弓
〃	〃	中村	公江
〃	〃	福永	洋

「議案第2号平成30年度千葉市一般会計補正予算（第5号）」、「議案第6号平成30年度千葉市競輪事業特別会計補正予算（第1号）」、「議案第8号平成30年度千葉市市街地再開発事業特別会計補正予算（第1号）」、「議案第13号平成31年度千葉市一般会計予算」、「議案第14号平成31年度千葉市国民健康保険事業特別会計予算」、「議案第15号平成31年度千葉市介護保険事業特別会計予算」、「議案第18号平成31年度千葉市霊園事業特別会計予算」、「議案第19号平成31年度千葉市農業集落排水事業特別会計予算」、「議案第20号平成31年度千葉市競輪事業特別会計予算」、「議案第21号平成31年度千葉市地方卸売市場事業特別会計予算」、「議案第23号平成31年度千葉市市街地再開発事業特別会計予算」、「議案第26号平成31年度千葉市学校給食事業特別会計予算」、「議案第27号平成31年度千葉市公債管理特別会計予算」、「議案第28号平成31年度千葉市病院事業会計予算」、「議案第29号平成31年度千葉市下水道事業会計予算」、「議案第30号平成31年度千葉市水道事業会計予算」について、市長は、下記により速やかに組み替えを行い、再提出することを要求する。

## 記

### 1 組み替えを求める理由

(1) 地方自治の本旨に沿って「住民福祉の増進を図る」こと。

新年度予算の実態は、新庁舎整備や競輪場の再整備など、大型開発に多額の予算を計上する一方、国民健康保険料の引き上げや学校給食費の値上げ等、住民福祉の切り下げを強いている。また、安倍政権は消費税率10%への引き上げを示唆し、地方創生、立地適正化、自治体病院潰しなどの自治体攻撃を繰り返している。

日本共産党千葉市議会議員団は、大型開発を大胆に見直して市民生活・福祉を向上させることと、安倍政権の暴走を批判して、市民生活と地方自治を守る防波堤としての役割を果たし、一人一人の市民を大切にすする予算とするために、熊谷市長が提案した新年度予算の組み替えを求める。

(2) 市民生活優先の予算にすること。

新年度予算の一般会計4,610億円のうち、前年度比156億円増額した予算を活用すること、及び緊急性・必要性のない事業の見直しを行い財源を確保して、市民生活優先の予算にすることを求める。

福祉カット中、広域化に伴う国民健康保険料の値上げは被保険者に重い負担を押しつけ、今後、毎年値上げが続くと言われている。国・県からの圧力をはね返し、一般会計からの繰り入れにより保険料を引き下げ、安心して医療を受けられようにすべきである。真に支えを必要としている方々のために、適切な予算配分に努めるとして、前年度強行された心身障害者福祉手当カットによる約2億3,800万円を活用しての12件の事業は、緊急な事業であるが心身障害者福祉手当カットをしてまで行う事業なのかが問われる。また、12事業の一般財源総額は約7,900万円で、残りの1億5,900万円はこのほかの事業に使われている。市長が真に支えを必要としている方々のためにと言ったことは、事実と違い心身障害者を裏切るものであり、手当カットは元に戻すべきである。

人口減少を可能な限り食いとめて千葉市を活性化していくためには、子育て支援・教育環境の整備は重点課題である。給食費の無償化が急がれる課題となっている中、給食費を値上げする予算は子育て世代の願いに反しており、中止すべきである。

また、消費税率10%への引き上げを前提とした、使用料等の料金改定は中止すべきである。

このように福祉カット等をする一方、大型開発は、脱財政危機宣言を解除した途端に今まで以上の規模とスピードで進められている。

新庁舎整備は、まだ使える本庁舎を急いで建て替えることや、本庁舎への来客数が1区役所と同程度であるにもかかわらず、市民利用施設に予算をかけ過ぎることなど、市民理解が不十分なまま進められている。見通しが不明な中央公園・通町公園連結強化、千葉駅西口地区市街地再開発、千葉駅東口地区市街地再開発は中心市街地の空洞化をさらに進め、イオンのための幕張新都心拡大地区新駅整備、引き続き蘇我特定地区整備、民間業者のために整備する稲毛海

浜公園リニューアル、赤字で廃止を予定していた競輪場を再整備してギャンブル依存症を増やそうとしている。新清掃工場整備で建設されるガス化溶融炉は、CO<sub>2</sub>を大量に発生させ、地球温暖化対策の足を引っ張ることになり、工事入札の本体価格は、メーカーの言いなりとも思える異常な高額である。立地適正化計画の推進は中心部や拠点に大型開発を集約し、周辺地区の過疎化を進めるものである。

以上のような大型開発は、緊急性・必要性の視点から大胆に見直して、その財源を福祉事業に振り向ける。

## 2 組み替えの内容

### (1) 対象事業

ア 新年度予算中、見直しをする施策のうち、福祉カット及び公共料金の改定を中止する。

(ア) 国民健康保険料の値上げを中止する。

(イ) 学校給食費の値上げを中止する。

(ウ) 消費税率改定に伴う使用料等の引き上げを中止する。

イ 緊急切実な市民要望に応えることをはじめ、財政健全化を理由にカットされた事業を復活する。

(ア) 心身障害者福祉手当を復活する。

(イ) 在宅高齢者等おむつ給付の従前の所得制限を復活する。

(ウ) 子どもルームは希望者全員が入れるよう整備し、指導員の処遇改善を行う。

(エ) 長寿祝金の支給を復活する。

ウ 高齢者・子育て支援を強化する。

(ア) 敬老乗車券を復活する。

(イ) デマンド（乗り合い）タクシーの社会実験を行う。

(ウ) 学校給食費を第3子から無料化する。

(エ) 市独自の給付型奨学金制度を創設する。

エ 地域医療・介護を充実する。

(ア) 青葉・海浜両市立病院の存続、充実と経営改善を行う。

(イ) 介護職員の処遇改善を行う。

オ 街を明るくして安全にする。

(ア) 自治会のはざまの防犯街灯を市の責任で設置する。

(イ) 維持困難な商店街街路灯の自治会への移転に必要な予算措置を行う。

(ウ) 市民が幅広く使える住宅リフォーム助成制度を創設する。

(エ) 商店リニューアル助成制度を創設して、地域活性化を図る。

カ 市民に安全安心な街にする。

(ア) 道路の消えている白線を整備する。センターラインなどの改善を警察に要請する。

(イ) バス停にベンチを設置するため、バス会社への補助制度を創設する。

キ 千葉交響楽団への支援を行う。

## (2) 組み替えの財源

緊急性と必要性が高い事業を優先するため、不要不急な事業などへの歳出を削減し、自主財源を確保する。

ア 大型開発の見直し

(ア) 新庁舎整備 (2億700万円)

(イ) 中央公園・通町公園連結強化 (8億9,700万円)

(ウ) 千葉駅西口地区市街地再開発 (4億7,276万円)

(エ) 千葉駅東口地区市街地再開発 (7億1,500万円)

(オ) 幕張新都心拡大地区新駅整備 (2万円)

(カ) 蘇我特定地区整備 (8億5,481万円)

(キ) 競輪場再整備 (9億3,020万円)

(ク) 稲毛海浜公園リニューアル (20億550万円)

(ケ) 立地適正化計画推進 (3,070万円)

イ 国・県などの事業に市が負担させられている費用等の是正

(ア) 県事業負担金千葉港湾整備など (2億860万円)

(イ) 国直轄事業負担金 (5億1,000万円)

(ウ) 不公平な扱いを受けている千葉県単独事業補助金40件  
(21億2,260万円)

ウ 自主財源を確保する。

(ア) 財政調整基金の活用 (30億円)

(イ) 資本金が10億円を超える法人に対する法人市民税均等割制限税率の適用 (3億300万円)

以上、総額122億5,719万円で、補助金等を差し引いた金額を、組み替えの財源とする。

(3) 急を要さない新清掃工場の整備などの大型公共事業で、当初予算に計上した予算に係る市債及び債務負担行為を抑制する。